



平成23年10月28日

各 位

上場会社名 日本化成株式会社
代表者 取締役社長 中村 英輔
(コード番号 4007)
問合せ先責任者 経理部長 関 信哉
(TEL 03-5540-5861)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月12日に発表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,330	310	360	130	1.24
今回修正予想(B)	15,500	650	700	330	3.14
増減額(B-A)	△1,830	340	340	200	
増減率(%)	△10.6	109.7	94.4	153.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	18,782	1,463	1,426	748	7.12

修正の理由

当第2四半期連結累計期間における売上高は、アンモニア系製品、電子工業用高純度薬品、ホルマリン、木材加工用接着剤等、震災の影響により販売数量が減少した諸製品が、主要顧客における更なる需要減少或いは復旧の遅れ等により、引き続き厳しい状況で推移する一方、比較的堅調に推移していた機能化学品事業及び無機化学品事業の一部についても販売数量が減少したこと等から、前回発表(平成23年5月12日)に比べ減少する見通しとなりました。

一方、同連結累計期間の損益については、震災による操業停止期間中の固定費等を「災害による損失」として特別損失に計上したこと等により、営業利益及び経常利益が、前回発表に比べ増加する見通しとなりました。

また、四半期純利益についても、ゴム用カーボンブラック製造受託終了に関し、製造委託元から受領した解約金423百万円を特別利益として計上したこと等から、増加する見通しとなりました。

今後の見通しにつきましては、世界経済の変調による不透明感の強まり、記録的な円高、当社主要顧客の需要動向など、種々の不確定要素を抱え、取り巻く諸環境は、先行き予断を許さない状況が継続すると想定されますが、当社グループといたしましては、秋口以降、震災前の業績軌道に戻すという当初道筋に沿って引き続き前進することとしております。

こうした状況を踏まえ、平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では、平成23年5月12日に発表した内容から変更していません。

なお、今後の状況変化に伴い見直しが必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上